

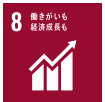
ミャンマー・バゴー市の木工産業振興のための
人材育成とグループ化支援事業

特定非営利活動法人
アジアクラフトリンク



実施国 ミャンマー

助成額 80万円



ユーカリなど植林材の利用による
商品開発をサポートし、
技術指導と人材育成を続けています

申請の概要

ミャンマー・バゴー市の木工品生産者が植林木を新たに活用できるような調達の仕組みづくりと技術の向上を実施し、木工産業の収益性を向上させます。さらに現地の産業関係者の人材育成と組織化を促進し、木工産業の収益を高める取り組みが自立的かつ持続的に行われるよう支援します。

事業の背景

ミャンマーの最大都市ヤンゴンから車で2時間、約25万人が暮らすバゴー市では産業基盤が弱く安定した就業機会が少ないため、多くの人が国内大都市や海外への出稼ぎや、日雇い労働に従事しています。古くから続く木工品生産は、人々が地元で従事できる貴重な収入源の一つですが、収益性に課題があり、近年は産業として困難に直面しています。収益を高められない要因には、原料となる木材の価格高騰と、付加価値の高い市場へ参入できていないことが挙げられます。ミャンマーではユーカリの植林材や、チークの間伐材など、安価で魅力的な資源が豊富ですが、有効に利用されていません。こうした材料を活用しながら新たな市場を開拓する取り組みと人材が求められています。

助成金の使用用途（一部抜粋）

- 物品費（植林木 他） 31.1万円
- 現地スタッフ人件費 21.2万円
- 専門家派遣費 14.7万円



現地共同活動による植林作業



スチーム乾燥機



植林材を用いた試作の様子



植林材を用いた
カトラリー生産の様子



最終仕上げ加工

注目

活動の成果

原材料の調達を仲介し、地域の木工品生産者が利用できるよう支援しました。スチーム乾燥に必要なボイラー付きの木材乾燥機を1機製作し植林材の乾燥が可能となりました。そのため、品質の安定した新しいクラフト雑貨を生産できるようになりました。また、海外市場向けの生産活動に参加することで、新たな取り組みの有益性を理解し新しいデザインの商品を開発しました。ミャンマー人講師によるビジネスマネジメント研修を試験的に実施し、将来に向けて、現地人材の育成と組織化のための関係づくりが開始できました。

今後の課題

新しい材料の利用が現地人材の力で継続するよう、利用者を広げ調達のノウハウを残す必要があります。また、木材乾燥設備の製作と使用方法を教材化し、研修を通じて多くの人々に周知することで、現地社会に根付いた技術として普及させていきたいと考えています。組織化に向けた関係性づくりは、現地の人々とさらに具体的な体制を見据えた話し合いができるよう、研修とミーティングを継続的に開催する必要があります。

実施組織よりひと言

現地の人々と学び合いながら、一生残る技術を伝えています！

斎藤 秀一 理事長



1年間の活動内容

2022年
4月

・キックオフミーティングをオンライン実施

5月

・植林地の情報収集と調達支援を開始
・ユーカリの植林地を訪問、植林材を購入
・木材乾燥試験を開始、乾燥材を生産者へ提供

6月

・木材乾燥機にボイラーを設置、スチーム乾燥試験を開始
・生産者とのミーティング、デザインコンテストを試行
・生産者との共同活動としてユーカリとアカシアを植林

7月

・ユーカリとマレーカリンを購入、新商品開発に利用

8月

・公式木材や植林材の調達先の情報収集と交渉を継続的に実施

9月

・ビジネスマネジメント研修の講師候補と研修計画について考案

10月

・ビジネスマネジメント研修の講師と研修計画を打合せ

11月

・木材乾燥試験の結果分析

・ビジネスマネジメント研修を実施。パゴー市内での中小・零細事業者の展示会に出店



12月

・ビジネスマネジメント研修、木材調達先の情報収集と交渉を継続的に実施



2023年
1月

・植林材を用いた新商品を紹介する展示会準備

2月

・展示会で日本市場向けに新商品を発表
・15アイテムが新商品として生産開始、継続

ウェブサイトもぜひご覧ください

<https://www.acl.or.jp/>



CHECK!